

企画提案書依頼事項

1. 企画提案書の様式及び部数

- (1) 用紙は、各様式とも A4 サイズ（両面印刷可）を使用すること。ただし、図表やグラフィック等の説明資料については A3 用紙も使用可能とするが A3 用紙を使用する場合は、横折込みとすること。
- (2) 作成部数は 3 部とし、表紙については 1 部のみ正本表紙の【様式 4-1. 表紙（正本）】を使用し、残りの 2 部の表紙は副本表紙【様式 4-2. 表紙（副本）】を使用すること。また、提出書類一式のデータをセキュリティに配慮した方法で提出すること。
- (3) 法人名等については、正本のみ記載すること。副本に提案者名や提案者が推測できる記載がある場合は、記載部分を黒塗りするなどして提案者がわからないようにすること。

2. 企画提案書の項目

本業務に係る提案書は、別紙仕様書を踏まえて次に掲げる事項について記述・提案すること。

(1) 履行実績【様式は任意】

2019 年度以降に元請として履行を完了した、大学・官公庁・企業等における VI 作成に係る業務の実績について記入すること。

- 1 本プロポーザルの参加申込時に提出した契約実績を含めても可。（参加申請書の契約実績の提出のみでは評価の対象とはならないので注意すること）
- 2 主な契約例の VI を 3 点（デザインと、可能であればそのコンセプトを添えて）提出すること。
- 3 提出したデザインがクライアントの要望に適合し具体的な効果を上げた事例を提示すること。

(2) 積算根拠【様式は任意】

本事業実施の見積金額を税込で算出すること。また、その積算根拠の内訳も明確にすること。

(3) 実施体制【様式は任意】

1 受託者の業務実施体制・実施体制図

本業務を実施する貴社の体制を役割別に記入すること。また、体制を図式化して記入すること。

(4) 実施計画・スケジュール【様式は任意】

(5) 実施内容詳細【様式は指定しないが、各ページ右上に様式番号を記入すること】

本業務の実施内容について以下の各観点により詳細を提案すること。直接のデザインではなく考え方について記述すること。

- VI の方針・考え方
 - 仕様書及び別紙 1 を踏まえたうえで、提案者が作成する VI のデザインコンセプト、ターゲットへの訴求力、またそのコンセプトにする理由を具体的に記載してください。また、提案者が考える成功する VI の定義も含めて記載して下さい。
- 広告の役割と効果
 - 提案する VI を基に広告を作成した場合、どのようにターゲット層にプログラムの特徴を効果的に伝えるか具体的に述べてください。また、その広告が視覚的、感情的に与える影響について、想定される成果を含めて記載して下さい。
- 大学プロジェクトの認知度向上

- SI コース及びその関連事業が大阪公立大学の一環であることを明確化するためのデザイン要素（例：ロゴ配置、カラー選定）や、その要素をターゲットに自然かつ効果的に認識させる方法について具体的に記載してください。
 - 属性の表現方法
 - SI コースを象徴する形容詞や属性（わくわく、邂逅、究理、気づき・発見、挑戦的）を、視覚的、構造的、または感情的にどのように VI に組み込むかを具体的に示してください。（属性は1つを選ぶ）
 - 拡張性
 - 提案する VI が、印刷物、ウェブサイト、SNS、看板、プロモーションビデオなど多様なメディアで活用可能にするための具体的な考え方を説明してください。また、その運用におけるコストや技術的な課題への対応策も記載して下さい。
 - Web ページへの VI 反映の効果
 - 現在の Web ページ<<http://www.coil.osaka-cu.ac.jp/>>に対し、提案する VI に変更した場合の訴求効果の変化について、どのような事が期待もしくは予想できるのか具体的に示して下さい。
- ※ 上記の際に、自社の過去の作品や他の例を利用しても良い。
- オーストラリアの国旗は、イギリス連邦の一員であることを示すため左上にユニオンジャックを配置するとともに、全体の背景色をユニオンジャックの青で統一している。本提案では、大阪公立大学内のプロジェクトを示すため、本学ロゴを**に配置すると共に
 - この作品例 (B) では「若々しさ」を表現するのに、●●をモチーフとして使い**の部分で**色を用いた。本応募では、「究理」を表現するのに、***の部分の色を用いる。同様に、この例では、外周を**にすることで***を***し